

コスモスしえんだより



紀伊コスモス支援学校

支援教育部

2017. 6. 1 第1号



学校教育法第74条に、特別支援学校の特別支援教育に関する地域のセンター的機能が位置付けられて10年になります。

この間、本校と地域の諸学校が相談し合える関係となりました。また、学校だけでなく、行政・医療・福祉関係の方々との関係も構築されつつあります。

今後さらに連携を深め、情報を共有することで、それぞれの専門性の向上をめざしていければと考え、この「コスモスしえんだより」を発行することとしました。

本校の取組等を中心に、関係機関の方々にもご協力いただき、共有すべき情報を発信していきたいと思えます。

本校校長から

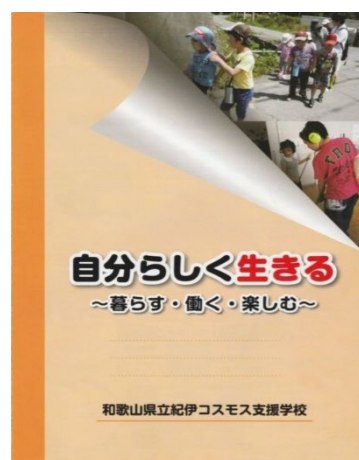


障害等の有無にかかわらず、全ての人がお互いを認め合い、ともに暮らす社会、すなわち**共生社会の実現**が求められています。教育の分野においては、**インクルーシブ教育システム**の構築に向けて、小中学校との学びの連続性、交流及び共同学習が重視されています。そのような中で、このたよりが支援学校と地域の学校との交流の場になればと思っています。

本校校長 中野 卓哉

本校キャリア部より

連載①



本校キャリア教育
リーフレット

本校では、**キャリア教育と職業教育**に関する研究に取り組み始めて5年目を迎えます。

学校を卒業し社会に出た時に、スムーズに自立、社会参加ができるよう、学校でどんな力をつけたらよいのかを検証し、**キャリア教育リーフレット**を作成しました。

「生きる力」のほとんどは、家庭や地域で営まれるものであり、学校はきっかけを与えるに過ぎないものです。そのきっかけから、家庭と連携しながら違う場所で、違う場面でするように定着させることが私達学校のねらいです。その目標がたくさんつまったりリーフレットを是非参考にしてください。

今、大学を卒業しても3年以内に3割が離職しているのが現状です。長い間働き続けるには、「働く力」以上に「生きる力」を育てておく必要性があるということを保護者の方に伝えることが大切です。それは、どの子どもでも同じです。

様々な視点からキャリア教育をさぐり具体的な取組について連載で紹介したいと思います。

交流・連携の場

～今回は、福祉の立場から岩出障害児者相談・支援センター所長北尾朋子さんに記事を依頼しました～

【相談支援事業所の役割】

相談支援事業所では、障害のある人の生活に関する様々な問題について、必要な情報の提供や障害福祉サービスの利用支援など、地域生活に関わる必要な援助を行っています。

また、教育関係を含めた地域の関係機関との連携を強化していくことにも取り組んでおり、在学中であっても様々な課題を抱える方に対して、教育機関と一緒に支援を進めていきたいと考えています。

在学中から卒業後の生活まで、途切れることなく支援者が関わることが出来るよう、在学中からの相談が重要なものであると感じているとともに、家庭への支援や関わり方を含め、生活の中で必要となる支援と一緒にお手伝いさせていただければと思います。

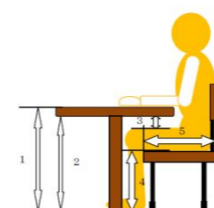
☆相談支援事業は、市町村の必須事業として位置づけられており、それぞれの市町村に1ヶ所以上設置されています。障害の有無に関わらず、気になるケースがあれば、まずは一度ご相談ください。



岩出障害児者相談・支援センター
所長 北尾 朋子

～適した椅子、机で学習し、 適した靴で活動できていますか？～

★椅子・机



- ・椅子が高すぎる場合は足置きを。
- ・座面奥行きは膝裏に指が入るくらい。
- ・自然に手をおろした時に肘の高さが適した机の高さ。

★靴

成長期の子ども達の靴はこまめにチェックが必要です。



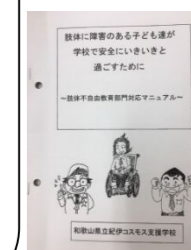
この「コスモスしえんだより」は、本校校区内の教育関係機関および相談支援事業所に配布致します。
情報共有すべき素敵な事例等ありましたら、お知らせ下さると幸いです。

毎年校内で確認しています！

本校では、毎年本校作成の「**知的発達を伴う自閉症への子どもの支援ガイドライン**」と「**肢体不自由教育部門マニュアル**」を用いて、子どもへの支援を校内で確認しています。



- I はじめに
 - II 自閉症とは
 - III 知的障害と自閉症
 - IV 自閉症の認知特性理解
- 資料 追加チェックリスト
特別寄稿 (和歌山大学 教授 江田 裕介氏)



★本校の今後の予定★

- 9月5日(火) 体験入学説明会
- 9月7日(木) 体験入学説明会
- 10月8日(日) 運動会
- 11月29日(水) 公開授業・公開研究会

